

取扱説明書

この取扱説明書は、主としてLP ガス販売事業者・LP ガス配管設備士の方を対象に、製品説明、安全のために、設置工事、維持管理、お客様への説明、連絡先の順に作成してあります。

お客様に、安全にLP ガスをご使用していただくために、液化石油ガス法及び関係基準を遵守するほか、この取扱説明書をよくお読みになり、LP ガス設備の安全を図ってください。

説明文の前やイラストに付したマークの指示と内容は次のようになっております。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



…… この記号は「禁止」の行為であることを告げるものです。



…… この記号は「注意」を表し、この表示を無視して誤った使い方をすると、人が障害を迫る可能性が想定される内容、及びガス漏れによる火災発生などの物的損害の発生が想定される内容を示します。



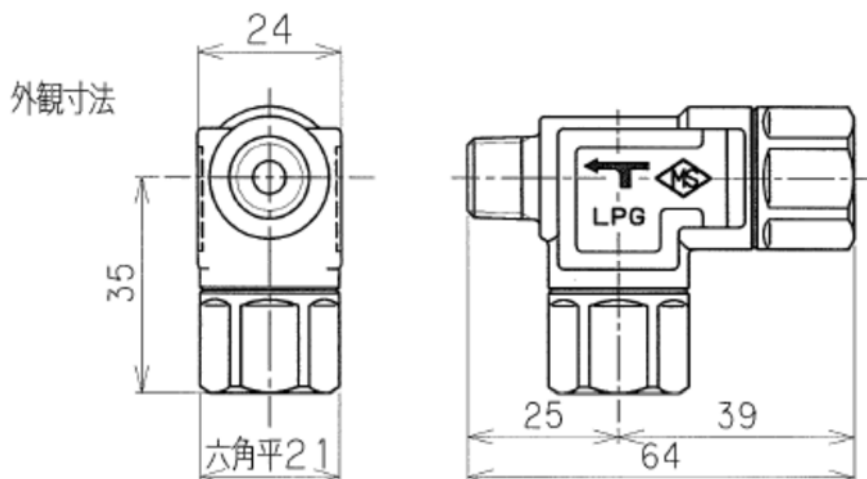
…… この記号は「必ず実施」していただく内容を告げるものです。行為を強制したり指示する内容を示します。

1. 製品説明

- この製品は、LPG用供給設備(4本立用集合装置)のヘッダー(高圧側気相部)として使用し、小型自動切替調整器および高圧ホースとの組み合わせを基本とします。
- この製品には、逆止弁が内蔵されており、容器交換時にLPGの逆流を防止する構造になっております。
- 型式・仕様

型式	接続ねじサイズ		気密試験圧力	使用温度範囲	定格流量 空気(LPG) (約 5.6kg/h)
	ガス入口側	ガス出口側			
MH-8C	Rc1/4	R1/4	1.80MPa	-10~70℃	

定格流量は、圧力0.07MPa
圧損水頭1500mmのときの
1口当たりの空気量を示す。
(LPG換算参考値)



2. 安全のために

- ⊘ この製品は、LPガス専用のヘッダーとして気相ラインに使用するものです。液相ラインには使用しないで下さい。また、LPガス以外に使用すると機能の損なわれる恐れがありますので、他の用途には使用しないで下さい。
- ⊘ 流量及び強度上、本製品を連結して使用しないで下さい。4本立(片側2本)として使用してください。
- ⊘ この製品は、工場で精密に組み立てられております。分解、改造をするとガス漏れなどによる事故発生の原因となりますので絶対にしないで下さい。
- ⊘ この製品は腐食性ガスの影響を受ける恐れのある場所には設置しないで下さい。

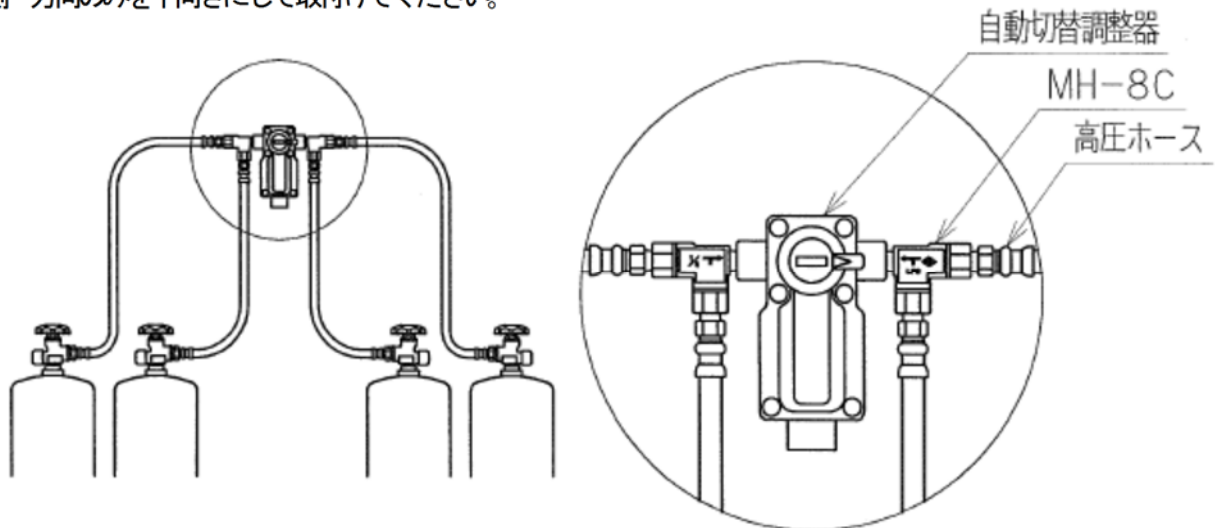
3. 設置工事



この製品の設置、取付け工事はLPガス設備士自らが行ってください。



この製品の取付けにおいては本体に示されているガスの流れ方向の指示 (←T) に従い出入り口を水平、又は入口側一方向のみを下向きにして取付けてください。



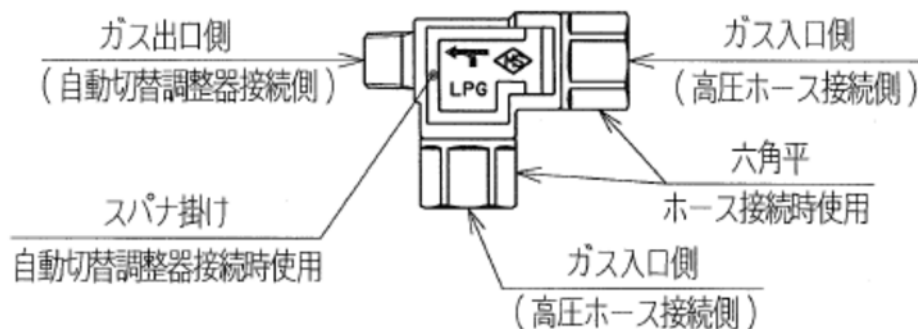
配管工事の際は、ガス漏れなどのトラブルを防止するため、ねじ部の切粉やごみなどの異物を完全に除去してください。接続部のねじ山には耐LPガス性のシール剤を塗布してください。ヘッダー内のシール剤のはみ出しを防止するため、ねじ先端の1山にはシール剤を塗布しないで下さい。



シールテープは、切れ端がヘッダーに侵入する恐れがありますので使用しないで下さい。



自動切替調整器、高圧ホースとの接続時は、図に示すスパナ掛け及び六角平を使用してください。また、適切な工具により、手締め後1~1.5回転を目安に締め付け、過大な締め付けは避けてください。



ヘッダー締め付けにはパイプレンチは絶対に使用しないで下さい。ガス漏れ、破損の原因となりますので、ヘッダーに異常な荷重が加わらないように設置してください。



設置完了後には、所定の圧力で気密検査を行い、漏れが無いことを確認してください。又、ガスを通気して燃焼器具に点火し、器具の入口圧量値及び燃焼状態に異常が無いことを確認してください。

4. 維持管理



容器の交換は、必ず容器バルブを閉めてから行ってください。



点検は毎月1回以上行い、使用上支障のある腐食、割れ等があった場合は直ちに新品を交換してください。



製造後7年以上経過したものは、性能低下、劣化等が予想されますので、新品と交換してください。

本製品についてのご質問、及び定期点検のご相談、ご依頼は下記の営業所までご連絡下さい。



株式会社 宮入バルブ製作所
MIYAIRI VALVE MFG. CO., LTD.

本 社	〒104-0061	東京都中央区銀座西 1-2	(Tel) 03-3535-5575	(Fax) 03-3567-6834
甲 府 工 場	〒400-0206	山梨県南アルプス市六科 1588	(Tel) 055-285-0111	(Fax) 055-285-7175
札幌営業所	(Tel) 011-786-1110	(Fax) 011-786-1120	名古屋営業所	(Tel) 052-951-3860 (Fax) 052-951-3862
仙台営業所	(Tel) 022-295-4670	(Fax) 022-295-4671	大阪営業所	(Tel) 06-6541-8711 (Fax) 06-6541-8718
東京営業所	(Tel) 03-3535-5571	(Fax) 03-3567-6834	九州営業所	(Tel) 093-921-0981 (Fax) 093-921-0984